

蒲生干潟の地形調査③⑦

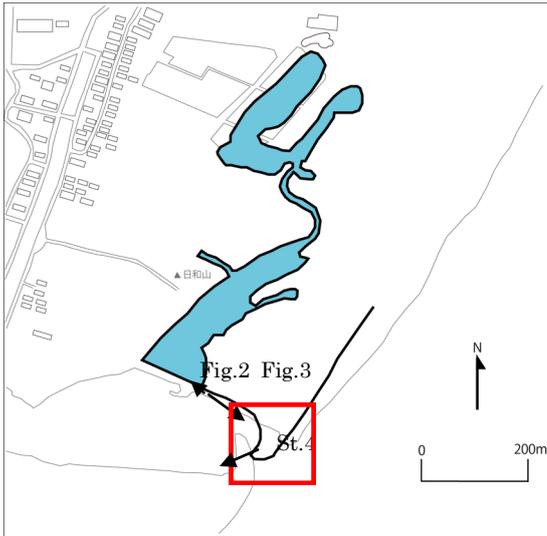


Fig.1 11月のGPS簡易測量結果



Fig.3 左岸にできた砂州により南に移動した河口(西側より撮影)



Fig.2 工事中の通水部分(東側より撮影)



Fig.4 右岸にできた侵食による崖(東側より撮影)

調査日 2018年11月8日(木) 9:40~11:20 ※干潮時刻9:37(潮位75cm)

Fig.1はGPS簡易測量による11月の汀線である。潟湖の大きさは9月の調査結果と大きな変化はなく安定した状態であった。また9月の調査同様に潟湖北側と南側は水路でつながっており、水路の深さも深くなっているように見えた。

導流堤付近の工事も進んでおり、9月までは通水部分を大きく南北の2箇所において工事を行っている様子が覗えたが、今回の調査では外からはどのような工事を行っているのか不明な状態であった(Fig.2)。

河口付近では地形の大きな変化がみられた。左岸のFig.1の□で囲まれた部分の堆積が激しく、南側に大きく広がった砂州を形成していた(Fig.3)。このため河口付近の地形は大きく蛇行し、河口の位置も大きく南側に移動していた。右岸側では海側からの侵食による崖が形成されていた(Fig.4)。

(中田 晋)